

背くらべ

柱のきずは、をと、しの、
五月五日の、背くらべ。
粽たべたべ、兄さんが、
計ってくれた、背のたけ。
きのふ くらべりや、何のこと、
やつと、羽織の紐のたけ。
柱に凭れりや、すぐ見える、
遠いお山も、背くらべ。
雲の上まで、顔だして、
てんでに、背伸してゐても、
雪の帽子を、ぬいでさへ、
一は、やっぱり、富士の山。

「子供達の歌」第三集「背くらべ」所載、
中山晋平作曲目録によるとレコード初吹
込はニッポノホン15109、歌手外山
国彦、ピアノ伴奏中山晋平である

「子供達の歌」第3集のあとがき

集中の「背くらべ」は、初め一節だけの歌詞で作曲しましたところ、蓄音機のレコード吹込のため、いま一節歌詞が必要になって、作曲出来後、第二節をつけることになりました。それゆゑ、出来るだけの注意はしたつもりですが、なほ多少無理な個処があるかも知れません。場合によっては一節の歌だけで充分と思ひます。さういふことにお含み置き下さい。(大正十二年五月)